

部活動指導における好事例 No. 4 R2. 12月発行

<基本情報>

管内:胆振管内

学校名:壮瞥町立壮瞥中学校 学級数・生徒数:4学級・66名

部活動数:運動部 1部(卓球)、文化部 1部(吹奏楽)

<部活動の特徴>

・部活動としては、現状の2部しか設置できないため、平成29年度からNPO法人「そうべつ地遊スポーツクラブ」と連携し、小・中学生が参加できる**陸上クラブ「そうべつアスリートクラブ」**を導入した。

(詳細は別紙)

Good Point

・NPO法人の運営に当たっては、専従スタッフを配置せず、町教委生涯学習課主幹が主な事務を業務として担当することで運営している。



【アスリートクラブ練習風景】



【ICTを活用したパート練習】

・吹奏楽部では、パート練習にICTを活用した動画を視聴しながら練習することで、習得時間の短縮になっている。

・地域としては、少年団活動が行われ、バドミントン、剣道、柔道は中学生も参加している。課題は、団体スポーツ種目がないことである。

<生徒や保護者の声>

・小学校の時にそうべつアスリートクラブに加入していて、**中学校に入学してからも続けたい**と考えていました。当時から中学校の先生が教えに来てくれたので、緊張せず入部できました。小学生と一緒に練習するときに、練習メニューを教えるのは難しいけれど、走ることは楽しいです。(2年生部員)

・**安価な年会費と月謝**でクラブを運営してくれていることに大変感謝しています。しかし、そのことで、クラブに負担がかかっているのなら、今後、保護者として、何かお手伝いできることがないかなと考えています。(保護者)

今後も、各学校の部活動での工夫を紹介し、広く共有することを目指しています。「うちの部活動の工夫を紹介したい!」という学校は、御連絡ください。

連絡先:北海道教育庁教職員局教職員課部活動対策推進係
電話:011-206-6067(直通) FAX:011-232-1051
電子メールアドレス:kyoiku.bukatsu@pref.hokkaido.lg.jp



<別紙>

総合型地域スポーツクラブ「そうべつ地遊スポーツクラブ」の概要

○設立年月 平成29年5月31日 NPO法人認証

○経緯

平成22年3月 2年間の準備期間を経て前身の「地遊クラブ“ジョイ”」が設立された。地域住民と教育委員会の協働で発案され、スポーツ振興くじ助成を活用した。

主な活動は4つ

- ① ジュニアスポーツクラブ
小学校3年生から6年生を対象
壮瞥小学校体育館やグラウンドで週1回放課後に実施
平成28年度から豊浦町でも開催
- ② **そうべつアスリートクラブ**
小学校4年生から中学3年生を対象
壮瞥中学校で週3回トレーニングを実施
平成29年から実施
- ③ パークゴルフ・らくらくスポーツ・ヨガティス
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ④ 各種スポーツイベント
陸上教室やヨット体験、スポーツ鬼ごっこ大会などを開催
令和2年度は、ソフトボール大会、マラソン大会が中止になった。
参加者は町民だけではなく、**近隣市町からも**来ている。

○クラブ会計

収入のほとんどが会費収入(年会費2,000円、月謝1,000円)

専従スタッフを置かず、指定管理料や助成金に頼らない運営

○そうべつアスリートクラブの運営

- ・日々のトレーニングは中学校教諭と町教委生涯学習課主幹が担当
- ・大会引率は、町教委生涯学習課主幹が担当
- ・月間指導計画、保護者あて通信等を町教委生涯学習課主幹が作成
- ・町教委は、このクラブの運営を業務として取り扱っているため、金銭的補助ではなく**「人的補助」との考え方**で、補助をしている。
(例:クラブと町教委で事業を共催)

○課題

- ・教員の負担は軽減できたが、担当主幹の負担が大きい。運営スタッフを確保できるか。
- ・中学校教員が異動等で変わっても継続した連携が維持できるか。